

12/12

## 全国優良畜産経営管理技術発表会 菅原雅継さん・真美さんが最優秀賞に輝く

令和6年度全国優良畜産経営管理技術発表会が11月28日、東京都平河町の都市センターホテルで開かれ、当JA管内から、菅原雅継さん・真美さん夫妻（大東）が参加しました。全国から選考された8事例の中から最優秀賞4点、優秀賞4点を選ばれ、菅原さん夫妻は、最優秀賞を受賞しました。



受賞を喜ぶ菅原雅継さん⑤と真美さん

この発表会は、畜産協会などの支援活動により、優秀な成績を収めている畜産経営、グループが、課題解決に取り組んでいる事例などを広く紹介し、その経営成果とそれを支えた経営管理技術の普及拡大を図ることを目的に、中央畜産会の主催で行われています。

菅原さん夫妻は、「優れたリスクマネジメントによる高品質乳の安定生産一人にも牛にも優しい酪農経営」を発表し、良質な自給粗飼料の確保による経営安定化や分娩間隔短縮への対応などが高く評価されました。当JA管内で最優秀賞に選ばれるのは初めてです。

JAの佐藤一則組合長は、「全国的に酪農家が減少する中、このような受賞は素晴らしい。若い世代につなげていけるよう支援していきたい。地域のリーダーとしてけん引してほしい」と期待しました。

菅原雅継さんは、「全国の中で経営を発表することができ、とても良い経験になった。関係機関の協力の下、発表の準備をする中で、自分の経営を見直す機会にもつながった。たくさんの人のつながりによって、畜産業が成り立っていることを実感した」と話し、さらなる経営発展に意欲を見せました。



表彰式の様子（最前列右が菅原さん夫妻）



発表をする菅原雅継さん

11/27

**学校給食に  
「金色の風」**  
長島小学校（平泉）

「金色の風」を使った学校給食が提供されました。6年生の教室では出前授業を実施し、「金色の風」の特長や平泉町内でも生産されていることなどを学びました。給食では「ひとめぼれ」との食べ比べをし、児童たちは「金色の風」のおいしさを実感しました。



給食にはPRキャラクター「こんじっち」とJA佐藤一則組合長が同席

11/28

**児童養護施設へ新米贈呈**  
JA集落営農組織連絡協議会

児童養護施設一関藤の園で暮らす子どもたちの健やかな成長を願い、22組織から提供された「ひとめぼれ」「銀河のしずく」「こがねもち」計820キを贈呈しました。千葉賢会長は「子どもたちにはおなかいっぱいごはんを食べてほしい」と語りました。



新米を贈呈したJA関係者と渡部俊幸園長

11/20

**寒締めホウレンソウ出番**  
JA野菜部会ほうれん草専門部



袋詰め方法を確認する生産者

寒締めホウレンソウ出荷規格指導会をJA藤沢営農経済センターで開きました。出荷規格や荷受け体制、品質基準を確認した他、生産者の菅原一子さんの指導で、透明ファイルを使ってスムーズに見栄えよくホウレンソウを袋詰めする方法を学びました。

11/25

**豆腐ができる工程に理解**  
滝沢小学校（一関）



豆乳作りを見学する児童

3年生25人は、JA女性部一関中央支部の指導で、豆腐作りを体験しました。一晩水に浸した大豆をミキサーにかけ、鍋で加熱した後、布でこして豆乳ができる過程を見学し、出来上がった豆乳を試飲した他、豆乳にがりを加えて豆腐を作る工程に挑戦しました。

11/29

**農業の現状を調べて披露**  
東山小学校



農業についてまとめた劇を披露する児童

5年生35人が生産した「こがねもち」を餅に加工し、水田所有者の千葉健一さん（東山）と共に児童に贈りました。千葉さんは「お米作りの大変さと食の大切さを感じてほしい」と話しました。児童は、農業の歴史や現状をまとめた劇を披露しました。



最優秀賞の表彰を受ける千葉さん㊦

12/3

## 最優秀賞に 千葉さん輝く

第22回いわて南牛枝肉研究会を開き、千葉大さん（藤沢）の去勢牛が脂肪交雑や光沢などを評価され、最優秀賞に輝きました。枝肉単価は最高値の3763円でした。36頭が出品され、5等級35頭、4等級1頭に格付けされ上物率は100%となりました。



「金色の風」の米俵を奉納する佐藤会長㊦

11/29

## 奉納式で出来秋に感謝を JA「金色の風」栽培研究会

デビューから8年目を迎えた岩手県オリジナル水稲品種「金色の風」の奉納式を中尊寺で行い、作業の無事と豊かな実りに感謝しました。生産者を代表して佐藤正弘会長が奉納した令和6年産の「金色の風」の米俵を祭壇に供え、厳かに法要が行われました。



出品されたリンゴを審査する審査員

11/29

## リンゴ3品種の出来競う JA果樹部会

第10回果実品評会の審査を行いました。「サンふじ」22点、「シナノゴールド」7点、「はるか」1点の計30点が出品され、品種ごとに着色や玉ぞろいなどの審査を行い、各賞を決定しました。出品されたリンゴは、JA西部園芸センター直売所で展示・販売されました。



担当職員から説明を受ける参加者

12/1

## 新規栽培者に向け説明会

野菜・花きの新規栽培者向けの説明会「2024園芸だよ！全員集合」を開きました。JA園芸課の担当職員が栽培管理の年間スケジュールや収支について説明し、品目ごとに参加者との個別相談を行いました。参加者は熱心に品目の特徴などに関心を寄せました。



豆腐作りを体験する児童

11/29

## 手作り豆腐おいしいね！ 厳美小学校（二関）

3年生9人は、豆腐作りの出前授業を受けました。JA女性部一関中央支部の指導で、水に浸した大豆をミキサーにかけて、沸騰した湯に移し豆乳を作る工程や、豆乳を温め、にがりを入れて豆腐を作る工程を体験し、大豆の栄養や豆腐作りに理解を深めました。

12/5

## 課題解決に向け 意見交換

J A役員が（農）きのみ北方（藤沢）を訪問し、現在抱えている課題や要望を聴くことで情報共有しながら意見交換を行いました。J A役員による集落営農組織や農業法人への訪問は、令和6年11月から始まり、令和7年1月中旬まで行われる予定です。



（農）きのみ北方役員⑥と意見交換するJ A役員

12/12

## 温室効果ガスの削減狙う



Jークレジットについて学んだ説明会

中干し延長の実施によるJークレジットに係る説明会を管内2会場で行いました。農業由来のカーボンプレジットの生成と販売について、（株）フェイガー農業事業担当マネージャーの松谷達馬さんが、申請方法や収入シミュレーションなどを説明しました。

12/9

## 産地と担い手を広くPR J A青年部協議会



J Aの佐藤一則組合長⑥に完成を報告する青年部員

令和7年オリジナルカレンダーを制作し、完成報告と贈呈を一関市と平泉町、J Aに行いました。管内の農畜産物の紹介の他、担い手確保や産地PRのために米穀と園芸の2種類を作成。完成したカレンダーは行政や関係機関、取引市場などに配布されました。

12/11

## もしもの時のために習得 J Aブランド米部会



心肺蘇生法を習得した講習会

普通救命講習会を開き、心肺蘇生法やAEDの使用方法を習得しました。一関西消防署員から応急処置の目的などの講習を受け、実技を行いました。AS IAGAPでは、農場ごとに労働安全の責任者が応急手当の訓練を受けていることが必須条件となっています。

12/10

## 和気あいあいと短冊制作 J A女性部東山中央支部



互いに教え合いながら制作する部員

干支の押し絵教室を開き、生活シーダールの鈴木洋子さん（東山）の指導で、さくらほりきりの干支の巳の短冊を制作しました。パーツごとに立体感がきれいに出来るようお互いに教え合いながら、和気あいあいと制作し、楽しいひとときを過ごしました。